

キラキラ輝く人生を送る4人の

これが私の生きる道。

夢や目標を持って頑張っている人たちは、私たちに勇気とパワーを与えてくれます。

キラキラ輝く人生を送るために必要なものは…

輝いている人だからこそその生き方を、ちょっと覗いてみます。

interview

出作で生まれ育った弓達俊英さん。大学時代を神戸で過ごし、阪神淡路大震災を経験。それ以来、ライフラインに興味を持ち、卒業後は神戸で住宅設備業に携わった。その経験を生かし、心機一転、地元愛媛で開業する決意をした。

17年間神戸で住宅設備業に携わってきた弓達俊英さん。出作。昔からの目標であった『地元で開業』を決意し、今年3月に神戸の会社を退社。4月に出作で個人経営の住宅設備業『QUA(アクア)』を開業します。「大学1回生の時に阪神淡路大震災に遭って。お湯どころか水も出ない状況。1月の極寒の夜、自宅から少し離れた公園の水飲み場で震えながら頭を洗っ

家族の理解があるから今がある。
仕事と家庭を両立させたい。

たことを覚えています。この震災でライフラインの重要さに気づき、大学に通いながらガス工事の資格を取得しました」
大学時代から給湯器やガスの工事を請け負い、卒業後は神戸の住宅設備機器販売店に就職した俊英さん。プライベートでは大阪で出会った奥さんと10年前に結婚。4人の子どもに恵まれている。次第に地元で開業したいと思うように。



*01 弓達俊英さん

「僕にとっては地元でも、奥さんと子どもたちにとっては新しい土地。子どもを転校させたくなくて、Uターンの時期は長女の小学校入学に合わせました。家族みんなの理解があるから今があります」と、家族に心から感謝します。

Uターンを決めても、実際は神戸の仕事の関係で俊英さんだけは地元に戻れず、1年間は単身赴任状態が続きました。

「僕以外はすでに新生活をスタートさせています。僕はやっと今から。仕事で大切にしたいのは人とのつながり。仕事と家庭を両立させながら、まちのライフラインを支えたいです」と迎える新生活に胸を弾ませます。



妻のママさんと仲良し4姉妹
未來ちゃん(7歳)、美和ちゃん(5歳)、未都ちゃん(2歳)、未結ちゃん(3カ月)

